急性胆嚢炎に対する腹腔鏡下胆嚢摘出術における手術難易度評価の有用性の検討

1. 研究の対象

2023年4月から2024年10月 急性胆嚢炎と診断され、腹腔鏡下胆嚢摘出を完遂された63例のうち、カルテ情報からG8スコア算出可能な症例

2. 研究の背景・目的・方法・期間

【背景】高齢者虚弱性スコア(G8スコア)は高齢者の虚弱を包括的に評価する指標として広く用いられており、がん薬物療法における治療適応の判定などに活用されている。

【目的】当院における腹腔鏡下急性胆嚢炎手術の短期成績予測因子としての高齢者虚弱性スコアの有用性を検討する

【方法】Clavien-Dindo分類Grade2以上の合併症発症群とその他の症例群との2群間で、手術難易度評価項目を含む各種臨床病理学的因子を比較する

【期間】倫理委員会承認後 ～ 2027年12月31日

3. 研究に用いる資料・情報の種類

カルテ情報

4. 個人情報の取扱いについて

この調査・研究では個人情報・個人識別符号・要配慮個人情報を使用する。

すべてのデータは、実施担当代表者長田寛之が、外部ネットワークと切り離されたパスワードロックのかかるパソコン上に管理・保管する。仮名化したデータは、外部ネットワークから切り離されたパソコン上に、削除情報等とは別に管理・保管する。

5. 本研究に用いた情報の二次利用、外部への試料・情報の提供について

他の医療機関に提供する可能性はない。

6. 研究成果の公表について

本研究の結果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。

研究結果および報告内容に関しては、仮名化し個人情報特定できないよう十分配慮します。

7. 研究組織

研究責任者

近江八幡市立総合医療センター 診療部 外科 長田寛之

研究担当者

近江八幡市立総合医療センター 診療部 外科 中野且敬 内藤慶 竹本健一 小城正大 有村勇哉

8. お問い合わせについて

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書等の資料を入手・閲覧することが出来ます。

また、本研究対象に該当するかたで、本調査へのご了承が得られない場合(診療録を見られたくないなど)は、その求めに応じて対象者の方の試料・情報を本研究に利用することについて停止することが

できます。停止を求められる場合には、2025年7月までに下記の連絡先までお申し出ください。なお、了承の有無にかかわらず、患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究に了承いただけない場合の連絡先】

近江八幡市立総合医療センター 診療部 外科 長田寛之

〒523-0082 滋賀県近江八幡市土田町 1379 番地

TELL 0748-33-3151